

# 古いものを大切にしながら、 新しい文化を生み出す「行田のまちづくり」

今回の日本遺産認定は、先人たちから受け継いできた本市の貴重な歴史・文化遺産の価値が高く評価されたことはもちろんですが、それに加えて貴重な歴史・文化遺産を保存し、まちづくりに生かしてきた本市と関係する皆さんのこれまでの取り組みと、それを踏まえた今後のま



移築前の「旧忍町信用組合店舗」

ちづくりのビジョンが評価され、認定に至ったものです。しかも、各事業実施に当たっては、国や県の補助金など有利な財源を最大限に活用。限られた予算の中、大きな成果を上げてきています。ここでは日本遺産認定へとつながった、現在本市が市民の皆さんと進めている、古いもの（歴史・文化・文化財）を大切にしながら、新しい文化を生み出す「行田ならではのまちづくり」の取り組みについて、その一部を紹介いたします。

## 旧忍町信用組合店舗の移築 改修

市が寄付を受けた市指定文化財で日本遺産の構成資産でもある行田地区の旧忍町信用組合店舗。行田の足袋産業を支えた木造洋風銀行店舗であるこの建物を、国の地方創生拠点整備交付金などを活用して水城公園東側園地に移築し、改修・復原を行うための事業を平成28年度末から進めています。

歴史的建築物の魅力を生かすとともに、市民が交流できるカフェとして整備・活用することで、まちなかのにぎわい創出を図ります。



改修され活用されている「牧禎舎」

## ふるさとづくり事業

足袋蔵などの貴重な歴史的建築物の保存と活用を図るため、それら建築物をNPO法人などの団体が改修し、公共性のある活用を行う事業に対して、最大2千万円の助成を行っています。この事業の財源には、国の外郭団体からの補助金やふるさと納税の寄付などを活用しています。

平成28年度の実績としては、NPO法人ぎょうだ足袋蔵ネットワークが日本遺産の構成資産である行田地区の牧野本店を、女性の起業家支援施設として再活用する事業などに対して助成を行いました。



NPO法人 忠次郎蔵  
山崎 真さん  
(長野)

日本遺産の認定は、私たちがこれまで続けてきた蔵を活用するという活動が実を結んだようでもっとうれしく思っています。新聞で認定を知り、お店にいらっしやっただお客様もいました。これを機に当時の生活の面影を残す落ち着きのあるまち並みを多くの人に知ってもらえればいいと思います。



大澤みどりさん  
(行田)

今回、行田の足袋蔵を含む文化財などが日本遺産に認定されことはとても誇らしく思います。これらが観光に生かされ、まちの活性化にも結びついてほしいです。れんが造りの蔵（大澤蔵）を所有していますが、今回の日本遺産の認定を受け、これからも大切に残していきたいという気持ちでさらに強くなりました。

## 行田らしいまちを並びつくりと

### 賑わい創出事業

ふるさとづくり事業の助成を受けて整備された牧野本店が面する北谷通りなど、行田市駅周辺の歴史的街路やまち並み景観の整備を、平成27年度から国の社会資本整備総合交付金を活用して進めています。この事業の推進によって、地域に点在する足袋蔵などの歴史・文化遺産を生かした良好なまち並み景観が整備され、そこに人々が集うようになり、にぎわいの創出が図られることが期待されます。実際、歴史的街路の整備が行われたことを契機に楽しいイベントも開催され、この地域の魅力向上につながっています。



にぎわいが生まれつつある「北谷通り」

## 「足袋のまち行田」

### 活性化推進協議会の活動

平成28年度に市、商工会議所、市内の足袋メーカーなどが集まり、国の地方創生推進交付金を活用した「足袋のまち行田」活性化推進協議会を立ち上げ、足袋の販路拡大、新商品の開発、「足袋のまち行田」のPR活動などの事業を推進しています。

今後、足袋PR動画の作成、足袋コレなどのイベントの開催などが予定されており、足袋を通じた地域活性化の推進母体として、協議会の活動の展開が注目されています。



かつての足袋工場をそのまま活用している「足袋とくらしの博物館」



## 国登録有形民俗文化財資料整備事業

平成28年度から国の民俗文化財伝承・活用等事業費補助金を活用して、日本遺産の構成資産である郷土博物館所蔵の国登録有形民俗文化財「行田の足袋製造用具及び製品」などの資料の整理と詳細な調査研究を進めています。

今後さらに事業を推進することにより行田足袋の歴史を明らかにし、その成果を報告書として刊行するとともに郷土博物館の展示等に反映させるなど、皆さんにわかりやすくお伝えして参ります。



## オール行田で取り組むまちづくり

今後、5月30日に発足した日本遺産推進協議会が中心となり、国内外に向けた本市の魅力発信を強化していきます。この取り組みに対し文化庁からはコーディネートターの派遣や補助金の交付など、多方面での支援が予定されています。

今回の認定を機に、市民の皆さんをはじめ、関係団体や事業者などオール行田でまちづくりに取り組み、郷土愛と誇りを育みながら、まちのにぎわい創出と地域経済の活性化を図っていきます。

▼問い合わせ 文化財保護課文化財保護担当 (内線5321・5320)

## INTERVIEW